



社労士事務所

# 社会保険労務士法人小林労務

本社/千代田区九段南2-1-30 イタリア文化会館ビル4階  
TEL.03-3261-4911 <https://www.kobayashiroumu.jp/>  
創業/1993年(平成5年)5月 従業員数/45名(2023年8月現在)



もっと、くわしく  
見てみよう!



## 社会保険労務士って どんな仕事なんだろう?



「会社」と「働く人」を大切に、  
誰もが安心して働ける職場環境づくりに  
貢献できるお仕事です。

社会保険労務士は国家資格の必要な仕事で、企業における採用から退職までの「労働・社会保険に関する諸問題」や「年金の相談」に応じるなど、業務の内容は広範囲にわたります。「会社」を支援し、「働く人」たちもいきいきと働けるような社会づくりに携われることが、私たちの仕事のやりがいです。



■社会保険労務士法人  
小林労務

### 具体的には どんな仕事?



「働く人」に関わる専門家として  
会社を支える仕事です。

#### 1 「社会保険・労働保険」の手続き



社会保険・労働保険の手続きには、働いている人が仕事に怪我をしたり、病気になったときに病院に行って無料で治してもらうための手続きがあります。ほかにも、失業したときや子どもを育てる期間中は会社からお給料が支払われなくなりますが、その代わりに国からお金を受け取れるようにするための手続きを行います。

#### 2 「労働問題」の相談役



会社で働くためのルールブック(就業規則)を作ったり、「会社」と「人」の間で起こる問題の解決を支援し、トラブルが起きないように対策を提案して、「人」に関わるさまざまなことを通じて、会社で働くすべての人が安心して働けるようお手伝いします。

#### 3 書籍の執筆やセミナー講師



書籍の執筆やセミナー講師も務めます。社会保険、労働保険をはじめ、さまざまなテーマをみなさんに知ってもらうためのコラムを書いたり、労働に関する法律や労働問題についてセミナーを開催します。セミナーを通じてよりよい社会づくりに貢献できます。企業(会社)や出版社と協力して情報発信を行うこともあります。



どんな依頼を受けているの?



私たちが実際に担当している仕事には  
このようなものがあります。

#### 給与計算アウトソーシング



給与計算は、一人一人の労働時間や欠勤、有給休暇など細かく確認するため、正確さと専門性が求められる仕事です。会社の担当者に代わって給与計算を行います。

#### 手続きアウトソーシング



入社、結婚、出産、家族の誰かが亡くなったとき、病気になったとき、会社を長期間休むことになったとき、退職するときなど、ライフイベントごとに必要な支援を受けられるよう、手続きを行います。

#### 労務顧問



労務顧問として、人事労務全般(会社で働く人と会社の間で起こる問題)に関するご相談、アドバイスなどを行います。会社のルールづくり(就業規則などの作成)も中心となる仕事です。

#### セミナーの実施



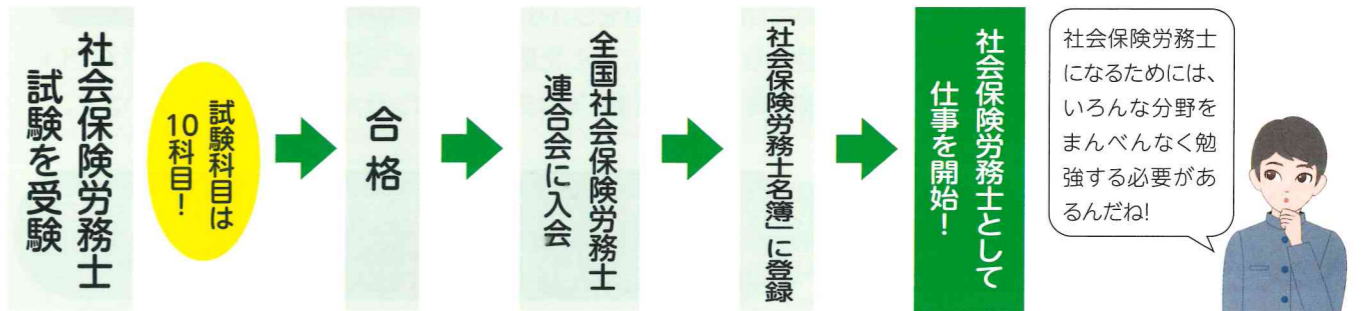
会社が「人」を雇う上で必ず守るルール(労働基準法や安全衛生法、社会保険・労働関係諸法令など)や年金の仕組みなど会社や一般の人に向けて役立つようなセミナーを実施しています。



社会保険労務士になるには?



まず、「社会保険労務士試験」に合格する必要があります。



こんな人は、  
この仕事に向いています!

- 地道な作業ができる人
- 相手の立場にたって考えられる人
- 柔軟性のある人
- ねばり強い人
- 組織(チームワーク)を大事にできる人
- 探求心がある人
- 人と接することが好きな人
- 誠実で正義感のある人

### 働く人の声を聞いてみよう!

#### Q.社会保険労務士を目指したきっかけは?

人は人生で一度は必ず働くことになると思います。そこで、すべての「会社と人」に貢献できるような仕事がしたいと思い、社会保険労務士を目指しました。誰もが安心して働ける会社づくりと、セミナーの実施を通じて、よりよい社会をつくる一員になりたいと思ったからです。

#### Q.やりがいを感じる時、仕事をしていて良かったと思う時は?

社会保険労務士に相談に来られる方は、会社と人の問題に直面し、より良い会社をつくらうと考えている方ばかりです。そのような考えに寄り添い、ご支援できること、感謝をいただけることにやりがいを感じます。

#### Q.仕事をする上で大切にしていることは何ですか?

社会保険労務士の専門分野は、法改正が多いことが特徴です。そのため、改正のポイントを素早くしっかり把握して仕事を行うことを大切にしています。心がけていることは、「相談者が望んでいること」を一番に尊重できるよう、相手の気持ちに寄り添って課題を解決することです。

## Q&A



特定社会保険労務士  
えんどう めぐみ  
遠藤 恵さん